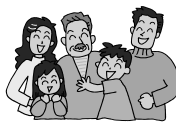


平成18年度上半期(4月～9月)財政事情

市税の負担状況

土岐市の人口を63,778人(10月末日現在)として市民一人当たりで計算すると…

市税負担額

固定資産税	市民税	都市計画税	たばこ税	軽自動車税	その他 (入湯税ほか)
					
47,401円	40,188円	7,700円	5,354円	1,610円	192円
合 計 102,445円					

※収入見込額を65億3,375万円として計算

企業会計の状況

平成18年度上半期の総合病院利用者数は対前年度同期比で、入院が6,428人(11.5%)減少し、外来(居宅介護サービス含む)が7,407人(6.4%)減少しました。

《主な施設整備》

▷医療機器購入 866万円

業務の状況

病 院 名	区 分	利用者数	1日平均利用者数
総 合 病 院	入 院	49,388人	270人
	外 来	108,317人	867人
駄知診療所	外 来	6,591人	53人
合 計	入 院	49,388人	270人
	外 来	114,908人	920人

施 設 名	区 分	利用者数	1日平均利用者数
老人保健施設 やすらぎ	入 所	16,796人	92人
	通 所	3,162人	21人

※入所に居宅介護サービスの入所利用含む。

経理の状況

病 院 名	区 分	金 額
総 合 病 院	収 入	32億0,426万円
	支 出	34億1,680万円
	差 引	△2億1,254万円
駄知診療所	収 入	4,293万円
	支 出	4,395万円
	差 引	△102万円
合 計	収 入	32億4,719万円
	支 出	34億6,075万円
	差 引	△2億1,356万円

※総合病院に老人保健施設を含む。

平成18年度上半期の配水量は344万m³(対前年度同期比0.29%増)、これに対する有収水量は320万m³(対前年度同期比0.65%減)となりました。有収率は92.84%で、前年度同期に比べ0.87ポイント減となりました。

《主な施設整備》

- ▷上水道中央監視設備更新工事(2件・2億2,788万円)
- ▷配水管新設工事(1件・549万円)
- ▷配水管布設替工事(3件・954万円)
- ▷公共下水道関連工事(6件・8,966万円)

業務の状況

区 分	業 務 量
配 水 量	3,444,652m ³
有 収 水 量	3,197,870m ³
有 収 率	92.84%
給 水 件 数	22,818件
給 水 人 口	63,672人

※有収率=有収水量(料金となった水量)と配水量との割合

経理の状況

区 分	金 額
収 入	8億4,498万円
支 出	7億9,771万円
差 引	4,727万円

土岐市の家計簿を公表します

この公表は、市の財政状況を皆さんに理解していただくため、毎年2回行っているものです。

ここでは、平成18年度上半期（4月～9月）の予算執行状況や、企業会計の業務状況などについてお知らせします。

一般会計

歳入の根幹となる市税収入のうち、市民税については税制改正などの影響で増収が見込まれるものの、固定資産税については評価替えによって課税標準額（税額を算出する上で基礎となる金額）が下落したことなどの影響で大幅な減収が見込まれており、全体としては依然として減少傾向にあります。

また、国庫補助金の廃止や地方交付税の見直しなどが実施されており、今後の動向に注意を払っていく必要があります。

こうした厳しい状況の中、最小の経費で最大の効果が得られるよう、適切な行財政運営に努めています。

今年度の一般会計予算は、9月末現在で、当初予算に前年度からの繰越事業費と2回の補正を行った結果、182億8,216万円となっています。今年度上半期は、土岐津公民館建設事業・JR中央本線西踏切拡幅改良事業などを行いました。

特別会計

特定の事業を行ったり、特定の収入を特定の支出に充てたりするときは、一般会計と切り離して経理を行います。これを特別会計といい、本市の場合11種類あります（表①参照）。

市債（長期借入金）

市の収入には、市税などのほか、学校・道路・公園・下水道など、一時的に多額の支出を伴う建設事業の財源として、市債（長期借入金）があります。市債は、将来にわたって負担を残すこととなりますが、世代間の公平負担の原則を尊重しつつ、返済能力の範囲内で運用しています（表②参照）。

今年度は、土岐津公民館建設事業・消防拠点施設建設工事（土岐津町・妻木町）などで借り入れする予定です。

企業会計

病院事業や水道事業などは、それぞれ一つの会社で事業を行っているの見立て、独立して経理を行うのが一般的です。これを企業会計といいます。

表① 一般会計・特別会計の収入・支出の概況（9月末日現在）

会計名	予算額	収入済額	支出済額
一般会計	182億8,216万円	92億5,094万円	61億7,916万円
特別会計			
曾木地区市有林管理	1,443万円	11万円	73万円
下水道事業	37億8,528万円	4億7,601万円	13億8,440万円
交通災害共済	2,214万円	907万円	882万円
国民健康保険	61億1,548万円	21億4,769万円	22億6,061万円
自動車駐車場事業	7,500万円	4,149万円	843万円
老人保健	58億1,210万円	21億9,509万円	23億3,193万円
介護保険（保険勘定）	33億8,456万円	12億3,630万円	13億0,468万円
農業集落排水事業	2億3,426万円	2,331万円	4,483万円
介護認定審査会	4,562万円	1万円	1,746万円
障害者自立支援認定審査会	622万円	0万円	305万円
介護保険（サービス勘定）	3,150万円	151万円	443万円

表② 市債の内訳

債目	金額
一般会計	
教育債	40億8,926万円
土木債	20億0,126万円
衛生債	14億9,710万円
民生債	6億5,284万円
商工債	5億7,318万円
その他	71億0,481万円
特別会計	
下水道事業債	177億1,382万円
農業集落排水事業債	2億2,710万円
企業会計	
病院事業債	56億0,239万円
水道事業債	72億0,698万円
合 計	466億6,874万円

（9月末日の現在高）